

令和6年度 春期
ITストラテジスト試験
午後II 問題

試験時間

14:30 ~ 16:30 (2時間)

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1, 問2
選択方法	1問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B又はHBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2問とも○印で囲んだ場合は、はじめの1問について採点します。

〔問2を選択した場合の例〕

選択欄	問1	○問2
	1問選択	

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”の記入方法

論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要と，その構想，計画策定，システム開発などに，あなたがどのような立場・役割で関わったかについて記入してください。

質問項目①は，構想，計画策定，システム開発などの名称を記入してください。

質問項目②～⑦，⑪～⑬は，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲み，必要な場合は（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

質問項目⑧，⑩，⑭及び⑮は，（ ）内に必要な事項を記入してください。

質問項目⑨は，（ ）内に必要な事項を記入し，記入項目の中から該当する記号を○印で囲んでください。

問1 DX（デジタルトランスフォーメーション）の実現に向けた新たな情報技術の採用について

企業は、情報技術を使った新サービスの開発や既存事業の改革などの施策を企画し、DXを実現する。その施策の中で、従来の情報技術では実現できなかったことを実現するために、企業にとって利用実績の乏しい、AI や IoT などの新たな情報技術の採用を検討することがある。

IT ストラテジストは、新たな情報技術の採用に関する検討の中で、その情報技術によって施策を実施できるかどうかについて、机上確認と技術検証を行う。例えば、業務要件への適合性、業界における規制への対応、性能・拡張性・セキュリティなどの非機能要件への適合性、情報技術の利用における継続性などについて机上確認し、その後、試験的な導入やシミュレーションなどを通じて、技術検証を行う。

机上確認と技術検証を通して、事業への適用におけるその情報技術の特性を理解した上で、リスクとその対策を具体化する。例えば、AI 倫理などのコンプライアンスに関するリスク、計画していた予算や体制などの経営リソースに影響を及ぼすリスクなどを確認し、それらへの対策とともに経営層に説明し、承認を得る必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった DX の実現に向けた新たな情報技術の採用について、DX の狙い、施策の内容、検討対象となった新たな情報技術とその必要性を、事業特性とともに、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた新たな情報技術について、施策の実施に向けて、あなたはどのような机上確認と技術検証を行ったか、その結果や工夫したこととともに、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた情報技術を採用するに当たって、机上確認と技術検証を通して、あなたはどのようなリスクとその対策を具体化し、経営層にどのように説明したか、経営層からの指摘、指摘を受けて改善したこととともに、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

問2 新しいビジネスモデルの策定について

今日、IT ストラテジストは、事業部門とともに事業戦略に基づき、新しいビジネスモデルを策定することが求められている。新しいビジネスモデルの策定では、顧客、提供価値とそれを具現化する製品やサービス、収益の獲得方法を定義する必要がある。

IT ストラテジストは、新しいビジネスモデルを策定する際には、IT で次のようなことを新たに実現できないか検討することが重要である。

- ・ IT で新たな顧客接点や魅力的な顧客体験（CX）を実現できないか。
- ・ IT で製品やサービスの新しい価値を提供できないか。
- ・ IT で低コストなオペレーションを実現し、収益に貢献できないか。

例えば、新たな収益源を検討していた和服メーカーでは、建設会社や介護施設などの新規顧客の獲得を目指し、作業員や高齢者の健康を見守る、利用料金定額制の新しいビジネスモデルを企画した。このビジネスモデルでは、IoT とクラウドサービスを活用し、銀などの導電繊維を織り込んだ衣服を着るだけで、体温や心拍数を収集して、熱中症などを監視する新しい価値を提供している。

新しいビジネスモデルが事業化される際には、事業環境の変化によって、顧客数や業務量、アクセス数やデータ量などの IT の要件が、当初の要件とかい離することがある。IT ストラテジストは、このようなかい離を想定して、拡張や縮退のできる IT の採用、地域や顧客層を限定した段階的な立ち上げなどを検討し、IT の投資費用とともに、事業部門へ提案する。そして事業部門からの評価を受け、提案の改善を行う。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった新しいビジネスモデルの策定について、背景にある事業概要と事業戦略を、事業特性とともに 800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた事業戦略に基づき、あなたはどのような新しいビジネスモデルを策定したか、顧客、提供価値とそれを具現化する製品やサービス、収益の獲得方法、IT で新たに実現したことを、800 字以上 1,600 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた新しいビジネスモデルが事業化される際の、あなたが想定した、当初の要件とのかい離は何か、提案した内容と事業部門の評価、事業部門の評価を受けて改善したこととともに、600 字以上 1,200 字以内で具体的に述べよ。

[メモ用紙]

[× 毛 用 紙]

[メモ用紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。

(2) 解答欄は、“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”と“本文”に分かれています。“論述の対象とする構想，計画策定，システム開発などの概要”は、2 ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。項目に答えていない又は適切に答えていない場合（項目と本文のシステムが異なる，項目間に矛盾があるなど）は減点されます。

(3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800 字以内

・設問イ：800 字以上 1,600 字以内

・設問ウ：600 字以上 1,200 字以内

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間中に退室する場合は、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ~ 16:20
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。 文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。

10. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限ります。

なお、会場での貸出しは行っていません。

受験票，黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB），鉛筆削り，消しゴム，定規，時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可），ハンカチ，ポケットティッシュ，目薬

これら以外は机の上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。なお、試験問題では、TM 及び [®] を明記していません。

©2024 独立行政法人情報処理推進機構